



東京オフィス開設披露宴

2006年5月29日(月)、東京オフィス開設披露宴が開かれました。

オフィスが位置するのは汐留・イタリア街。その中のイタリアンレストランにて、出席企業数19社の総勢42名の皆さんにお集まりいただきました。

夕刻4時半の開始時刻頃には、普段は静かなイタリア街が、オフィスの一角だけ参加者の方で賑わっておりました。司会進行は黒松所長。社長の挨拶の後、アキレス(株)・奥部長の乾杯の音頭で、開宴致しました。

森松(株)を基点とした様々な方々が一同に介す場、という面もあり、皆さんが、再会・交流・名刺交換という具合に、無限のバリエーションを楽しんでおられました。途中、黒松所長による各社紹介があり、各々のエピソードを聞いて、新たな発見があったことと思います。



そして、2時間という時間もいつのまにか過ぎ、会長の挨拶が始まり、宴も終焉となりました。

黒松所長も申しておりましたが、このような機会をまた設けさせていただいて、東京オフィスの歴史を創っていただければ幸いです。

当日は、名古屋本社より営業の方々にご足労いただきました。遠路の往復、誠にありがとうございました。

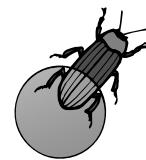
東京オフィス 堀江辰造



29日(土)	第五土曜日休み
25日(火)	編集会議 18時~19時20分 生産会議 18時~19時
24日(月)	営業会議 16時~17時 経営会議 7時10分~8時20分
23日(日)	奥田伸子さん誕生日
22日(土)	第四土曜日休み
18日(火)	長崎修さん誕生日
17日(月)	海の日 第三土曜日休み
15日(土)	羽場昭三さん誕生日
14日(金)	創立記念日
8日(土)	第二土曜日休み
6日(木)	国際文具紙製品展(6日(木)~8日(土))
3日(月)	黒松康郎さん誕生日
1日(土)	第一土曜日休み

2006年 7月

の予定



読書感想文

「豆腐バカ世界に挑む」

雲田康夫 著

伊藤雅典 (マルサン工房・サークル)

森永乳業の1社員が新製品「無菌パックの豆腐」をアメリカ本土へ普及させていく苦労話を、書いたものです。業界も違う1消費者としてこのような話は全く知らず、その影にこんな苦労話があるとは思いませんでした。まず、すごいと思ったのは森永乳業が無菌パックの包装技術を発明したということです。開発費がいくらかかったかは、わかりませんがそれが無残にも小規模豆腐メーカーの反対により国内販売ができなくなってしまうわけです。毎朝、牛乳と一緒に豆腐を届けるという構想が根底より崩れてしまったのです。そこから、彼のアメリカでの悪戦苦闘の日々が始まります。

ダイエットフードと言えば聞こえはいいが、大豆を醗酵させたものといえば、人間の食べ物ではない。またすでにアメリカで販売されている豆腐の保管状況が悪く、本当に腐りかけてすっぱい味がする。という最悪の状況下での普及活動。活動すればするほど状況の悪さが分かってくるばかり。一重にこれは彼の豆腐普及に対する「信念」・「執念」の何ものでもないと思います。豆腐を売らなければ自分の明日はない。異国の地で自分の頭が禿げようと、このことを思い続け頑張った結果だと思えます。

自分自身も仕事に対し、彼のように切羽詰まった状態でもできることは何でも試みるという精神で立ち向かっていきます。

「お爺ちゃんが作ってくれた鍵」

呉 亭 (ライトSTAFF・サークル)

私は中国生まれ、中国育ちの生粋の中国人です。小学校時代のあることを紹介します。

私が通った小学校は、成都郊外にある「草堂(そうどう)小学校」です。森と田園に囲まれているため、すごく綺麗な環境で、家から歩いて10分ぐらいの所でした。中国も日本と同じく9年制義務教育を行っています。小学校の入学試験をうけて、1年3組に入りました。

家が学校に近いので、自分の教室の戸締り係りを任せられました。教室の鍵を持つことで、特別な責任感を感じました。わざと周りの友達に自慢するため、鍵に紐をつけてクビにぶら下げていました。ある日、砂場で友達と遊びに夢中になり、邪魔になった鍵を取って傍に置き、そのまま忘れてしまいました。気付かず家に帰ってしまい、夜になり無いくことに気付きました。声を出して泣いていた私にお爺ちゃんが気付いて、訳を説明すると、一緒に探してくれ、砂場にある鍵はすぐに見つかりました。お爺ちゃんは何度も鍵を無くさないように、鍵を3本作ってくれました。私が1本とお爺ちゃん1本を持って、残りの1本は家に置きました。その後、鍵を無くしたことはありませんが、お爺ちゃんの優しさは忘れられない思い出です。

大人になっても自転車の鍵と家の鍵の予備を3つ作って置くことが習慣になっています。小さい頃、お爺ちゃんから教わったこの慎重さを仕事に活かしていきたいものです。

『第50期を迎えて』

社長 森 直樹



7月14日をもって森松は50周年を迎えます。この区切りを迎えることが出来たのも、従業員の方々をはじめ、森松に関わるすべての方々のおかげだと思います。今後も森松は、常に業界に刺激を与え続けることが出来る存在であるべく、日々革新していきたい所存です。よろしくお願ひ申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境は本当にめまぐるしく流動していると言えます。昨今の原油価格の上昇は、私が入社した1998年にはまったく話題にはならず、5年前の2001年でもバレルあたり30ドルを切っていたものが、現在ではその倍になっております。そして今後の情勢によってはさらなる上昇も考えられるといわれていますが、果たしてこのような背景でかつてのようにな化製品が同じ扱い、つまり安価な消耗品といふことになるかどうかわかりません。まして限られた資源である以上、代替の効くものはそれらに取って代わりつつあります。

そこで我々プラスチック業界に従事するものとしては、プラスチックの立場について改めて考えてみる必要があるのではないでしょうか。以前より盛んに研究されているリサイクル事業はより脚光を浴びております。また日本からの端材はそのまま海外より買い手がつかない状況です。

一度限りの使用、そしてプラスチック商品を扱ったつもりも、出来る限りエネルギー・コスト・手間を加えることなく再利用化できるもの、また繰り返し使えるもの、こういったようなデザイン・発想が求められるのでは、と思えます。

50年という年月のなか、森松は塩ビというプラスチックと共に成長し、歩んできました。そして今後もプラスチックの世界で柔軟に変化し、皆様と共に、次世代へ歩んでいくことのできる企業を目指します。

naoki@morimatsu.net

新入社員紹介

名前 堀江辰造 年齢 32才 勤務地 東京オフィス



5月より東京オフィスにて勤務させていただいております堀江辰造、大阪出身の32才です。森松株式会社に入社して2ヶ月が経ちました。入社してすぐの1ヶ月間は、名古屋本社での研修でありましたから、東京では1ヶ月が過ぎたこととなります。

思えば、本社での研修期間中は、ものすごい森松マン諸氏に囲まれ、森松の伝統と文化を教えてくださいました。みなさん、強烈な個性を持ち合わせた強者ぞろいで、まさにプロ集団という感じがいたしました。

東京においても、所長のもと、伝統ある森松(株)の精神でもって、前進していきたいと思っております。

今は、悩んでいる時間が大半ではありますが、おもしろく、たのしく、そして、うれしくなれるように、時間を創っていきたいです。

名前 王真昉 年齢 29才 勤務地 本社



私は王真昉と申します。

2000年10月に、中国の天津科学技術大学を卒業してから来日しました。

大学の専攻は工業デザイン(インダストリアルデザイン)でした。「工業デザイン」というのは初めて聞いた人が多いかもしれませんので、ここで簡単に紹介したいと思います。

まず、中国の大学では工業デザイン学科は工芸美術学部にも所属し、文系です。美術系の大学や専門学校には、工業デザインコースもあります。工業デザインとは人間の生活に必要な道具のデザインを指し、これには生活用品、電化製品、住宅設備機器、医療・健康・福祉機器、環境設備機器など工業的に生産される製品を対象としています。簡単に言えば、普段生活している中で目にする「物」は大きくとらえると全部、工業デザインであると言えます。

その後、名古屋商科大学外国語学部英語コミュニケーション学科に入学し、本年度より森松産業に入社させていただきました。

日本語での電話応対にて、何かとご迷惑をおかけするかもしれませんが(聞き取れなくて再度確認のためお客様名をお尋ねするかもしれませんが)。その際は、ご指導・ご支援頂けるようお願い申し上げます。

名前 加藤貴幸 年齢 21才 勤務地 本社



本年3月より現場研修が始まり、今までの学生生活等とは違い、なにからなにまで新鮮に感じ、日々楽しく作業をしています。作業一つ一つ当たり前と感じ行うのではなく、考え行動し自分自身の成長へと繋げて行きたいと思っております。

現在は現場研修を行っていますが、今後色々な部署を経験させて頂き自分自身の知識・常識を高め、森松という世界で、今の私から成長し、数年後には信用・信頼される人材になれる様、日々努力していきたいと思っております。又、皆様にご迷惑等おかけすることがあるかと思っておりますが、ご指導よろしくお願ひします。

趣味:映画鑑賞【邦画】・DVD鑑賞・ビリヤード・ドライブ・美味しいお店探しなど。

特技:少林寺拳法《初段》・柔道《嗜む程度》

『ヒョウリヤ』



牧野光昌(ウルトラセブン・サークル)

「ここ数年「名古屋は景気が良くないですわね。」と言われることが良くある。そう言われて思うのは、四半世紀前に流行った「タモリの名古屋人ギャグ」である。

タモリが「ミヤミヤ」と言うのを見て、「俺は違うよ。」と言いつつ内心は「へこんでいた。そしてもうひとつ名古屋にとってショッキングな出来事があった。」

1981年のオリンピック招致失敗である。その時はかなりの勢いで名古屋人はへこんだ。タモリは追い討ちをかけるように、それさえもギャグに使った。なんと小学館の辞書にまで「冗談の的になる街」として紹介されたこともあったそうである。

そして80年代と言えば日本がバブルに膨れ上がった時代でもあった。しかし名古屋のバブルのふくらみは他の地区と比べてかなり少なめ。堅実かつ感直な性格の名古屋人ではあるが、もし五輪誘致に成功していれば開催は1988年であり、名古屋のバブルは5倍にも10倍にも膨れ上がったのかもしれない。そうしたらきっと今の名古屋は見ても無残な状態だったかもしれない。

タモリのギャグと五輪招致失敗は名古屋人を忍耐強くしてくれた。そしてバブル崩壊からも救ってくれた。「名古屋は景気が良くない。」と言われたら、タモリの「エビリヤ」というギャグを思い出しながら、何事にも感謝しなければいけないのだなあ、と感じるのです。本当にタモリさんありがとう。

『レーシック(LASIK)』



岩間正美(ウルトラセブン・サークル)

知っている人も多いと思いますが、レーシックとはレーザー角膜内切形成術を意味し、目の表面にある透明な角膜の形を永遠に変え、近視・乱視・遠視を矯正する視力回復手術で、両眼で約10分程度の手術時間と個人差はありますが術後3日〜1週間程度での回復、料金は両眼で約20万円(病院によりかなり差がある)と身近なものになってきています。タイガーウッズ等、多くのスポーツ選手を初め、最近では私の友人3名がこの手術を受け、よい結果がでているようである。視力が0.1以下の人でも裸眼で1.0以上に回復すること、非常に興味をもって調べているのですが、このレーシックは比較的新しい技術で、レーシック用のレーザーが認可されたのは1998年のことで、長期的な安全性や効果は実証されていないそうである。

もちろん、1%以下とのことですがリスクもあり、合併症によるハロケレア現象(モヤがかかったり、光がまぶしく見える現象やドライアイ等)いろいろな症状がでたり、最悪失明することもあるようです。

約30年メガネのお世話になりメガネ無しでは生活できない私にとって、20万円が視力が戻るなら、真剣に調査、検討している次第です。

全く危険性がないのであれば直ぐにでも手術を受けるのですが...

『江戸っ子』



成瀬勝英(ライトSTAFF・サークル)

18世紀の東京(江戸)の人口は140万人、当時、世界最大の人口過密都市だった。市街地の大半は武家居住に占められ、人口の大半を占める町民は限られた地域にひしめき合って暮らしていた事になる。それでも江戸町民はそんな暮らしを居心地が良いと感じていたという。

徳川の政権は260年続いたが強権的な支配で維持されたものではない。住みやすい環境は町民が自ら居心地を良くする工夫を求めていったものである。居心地が良い事と生活の豊かさとは違うようだ。何より江戸町民が生活の中で重んじた事とは気配り、思いやりの文化であるという。

江戸っ子は三代続いて始めて江戸っ子と言われる。それには理由がある。例えば狭い路地など人の往来もままならず、ぼやぼやしていると人とぶつかりトラブルになる。他人に迷惑ばかり掛けては江戸の暮らしは成り立たないから身のことなしが大切になる。周りを観察する目や動作など一瞬で判断できる自然さを三代掛けて磨きあげた(技?)というもの。

更に江戸っ子の真髄は動作にあるのでは無い。粋(いき)という言葉に耳にするが、今で言えば(カッコイイ)かな? ではどういう事を粋と感じるか、何より他人を思いやる心や仕事(かわいそう)な人を見ると手を貸さずにはいられない情け深い心(己の教養や人格を磨く事などにカッコよさを感じたという。(お心配やし)読み書き算盤、教養や人格を磨く事。(打てば響く)素早く対処する。初対面で相手を見抜く眼力、切れ味が真骨頂。(三脱の教え)初対面の人に年齢、職業、地位を聞かないルール。(はいはい)返事は「回」。(往来仕事)往来でのマナー、肩引きとか傘かしげとかいう。狭い往来をすれ違う時、会釈し肩を引いて相手を通す事や、雨のしずくが相手にかからないよう傘を反対に傾けることをいう。そうした1つ1つの自然な振る舞いや動作を江戸しぐさという。(それが出来ない者は田舎者とされた)粋という言葉は、もはや死語と言えど個人主義と言われる現代に於いて少なくとも他人を思いやる事が本心にカッコイイと思えた時代が最も日本人らしい感性であったと思えてならない。先人の知恵に学ぶべき事は多いと思う。